

# とわっどい 埼玉

## 第7回総会・懇親会開催

去る六月二日、埼玉・タイ王国友好協会の第七回総会・懇親会が百名の出席を得て、浦和東武ホテルにて開催されました。

総会では先ず原会長、山口泰明顧問の挨拶に続いて、この日欠席となった土屋名誉会長のメッセージが紹介されました。その後議事に移り役員改選など三議案が満場一致で承認されました。



▲議長を務める原会長



▲山口泰明顧問

続いて当会副会長で、新電元工業健康保険組合理事長の西條正和氏による講演会が行われ、昨年教育関連施設建設事業でタイ王国メーホンソン県にあるバン・クッド・サムシブ校に寄付した寄宿舎の建設経過の詳しい報告がされました。また、その後開かれた懇親会にはスウィット・シマサクン駐日タイ王国大使が来賓として出席されました。

◀ 総会の会場風景



▶ 拍手の中、懇親会会場に入るスウィット・シマサクン駐日タイ王国大使



▲スウィット・シマサクン駐日タイ王国大使



▲原会長を囲んで、話が弾む女性参加者達



▲乾杯の音頭をとる細沼幹事



▲プロジェクターを使って講演を進める西條副会長

新たな気持ちで  
草の根外交を



会長  
原 宏

本年度は新役員を七名迎え、新たな気持ちでスタートいたしました。昨年に続く教育施設建設事業も早速具体化され、先般行われた役員会においてメーホンソン県のバン・マイ・サ・ピ一校にオープンスタイルの教室を建設することになりました。昨年寄贈した寄宿舎について、メーホンソン県のゴール教育長から「寄宿舎の住み心地がよい為休みながらも家に帰りたいくないと言う生徒が多くなって、親が困って居るような状態です」との話を添えた礼状が届き、この話は総会でもご紹介しましたが、私は現地在場が必要としているものを贈ることが出来たことを実感いたしました。

当会の活動も年を重ね、両国での認知度も高くなってきています。本年度も内外で色々な事業が行われますが、日本とタイ王国両国が理解し合い信頼感を高める、そのことが大切であることを先ず念頭において進めて行きたいと思えます。会員の皆様のご理解とご支援、そして積極的なご参加を心よりお願い申し上げます。

# 土屋名誉会長 メッセーヂ



本日は、埼玉タイ王国友好協会の総会が開催され、誠にありがとうございます。

総会に出席させていただき予定でございましたが、先日、旧知の間柄にある東ドイツの最後の首相を務められ、東西ドイツの統合と云う偉業を成し遂げられたハンス・モドローさんが、伊豆の下田へみえて歓迎会の席上、はしゃぎ過ぎて、ちょっと腰を痛め、出席することを失礼しようと思っておりました。その後回復いたしましたので、再度お見えいただいた原会長に、大使閣下もお出ましました。私も出席させていただきます。ところが同時刻に、私が、大統領特別経済顧問・名誉親善大使を仰せつかっております、第二次大戦の激戦の島、パラオ共和国から副大統領始め要人が見え、私

に会いたいとの申し出があり、総会の方へ出席出来なくなりま

したことをお許し願います。さて、先日は第十二号の会報を送っていただきましたが、内容が充実しており、感動いたしました。

さて、この二月には、協会設立当時から計画され、皆様方の支援により、教育関連施設事業として、寄宿舎一棟が、現地企業にも協力を願い完成し、リス族の子ども達の喜び様は、大変なものであったと伺っております。

こういうことは、言うは易し行うは難しで、原会長さんや役員の皆様のお骨折りに対し、最高の敬意を表する次第であります。

私も日程こそは異なりましたが、チェンマイを訪問し、日本総領事館設立式典や、チェンマイの王室の農場の責任者であるラジャーニー殿下にお目にかかったり、バンコックにて、旧知の間柄でありますシリントン王女に拜謁を賜わり、プーケットの津波災害に対するお見舞いを申し上げて参りました。

又原会長さんが、中心となつて建設した寄宿舎のことも資料によつて、ご説明申し上げて参りました。

私は、これからも自論である政府対政府の外交もさることな

がら、併せて民間外交を推進することが、我が国が、将来ともに平和国家として生き延びる道であると思ひ、このことに力を入れて参りたいと存じます。

私は十一月ごろラオスを訪問する予定を致しておりますが、タイ王室を始め、政府からも招待されておりますので、タイ王国を訪問したいと思っております。

本日、ご多用の中をお出ましいただきましたタイ王国大使閣下を始め、原会長、会員の皆様方のご健勝、ご多幸と会のご発展を祈ります。

## 役員紹介

本年は役員改選の年にあたり、役員数が十五名から十八名にと強化、後任者も含めて七名の方が新たに役員として就任されましたので紹介します。(敬称略)

### 名誉会長



土屋 義彦  
元参議院議長  
前埼玉県知事

### 顧問



山口 泰明  
衆議院議員

### 顧問



土屋 品子  
衆議院議員

### 会長



原 宏  
埼玉県経営者協会  
会長・武州ガス(株)  
代表取締役会長

### 副会長



平沼 康彦(新)  
社団法人埼玉県商  
工会議所連合会  
会頭

### 副会長



西條 正和  
新電元工業健康保  
険組合  
前理事長

### 副会長



福田 秋秀(新)  
埼玉経済同友会  
代表幹事

### 幹事



西 将雄(新)  
本田技研工業(株)埼  
玉製作所  
事業管理部長

### 幹事



笠井 和子  
ガールスカウト日  
本連盟埼玉県支部  
元支部長

### 幹事



前島 静頭  
医療法人顕正会  
理事長

### 幹事



細沼 哲夫  
日本伸管(株)  
代表取締役

### 幹事



藤池 誠治(新)  
(株)デサン  
代表取締役

### 幹事



吉野 寛治(新)  
吉野電化工業(株)  
代表取締役

### 幹事



富山 俊一(新)  
キューエムエス(株)  
取締役会長  
(株)エプス元取締役

### 幹事



小嶋 一晃(新)  
埼玉りそな銀行  
執行役員

### 監事



大久保 敏三  
(株)丸広百貨店  
代表取締役

### 監事



伊藤 明  
ユウアイ電子(株)  
代表取締役

### 事務局長



吉田 正広  
武州ガス(株)  
取締役社長室長

# 本年度教育関連施設建設事業

## オープンスタイルの教室を建設

教育関連施設建設事業については、六月の総会で役員会に一任との決議がされました。これを受けて、八月二日、役員会が開かれ同事業について討議した結果、メーホーソン県のバン・マイ・サ・ピー校にオープンスタイルの教室を一棟建設することが決まりました。



▲すでにあるオープンスタイルの教室での授業風景

同事業については五月の役員会でメーホーソン県に建設と決定、同県教育局から十箇所の候補地が提案されてきました。そこで、各候補地の要望内容や資金など当会の条件を考慮し、二校に絞り、西條副会長を中心に現地視察が行われました。

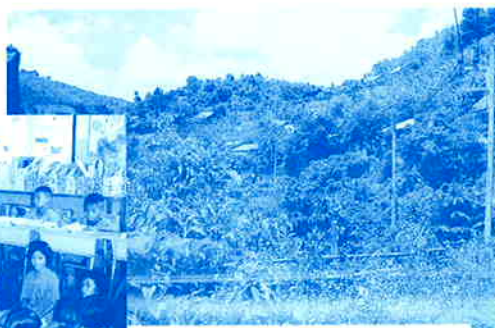
その報告を受けて、今回の役員会で討議を行った結果、バン・マイ・サ・ピー校にオープンスタイルの教室を一棟建設することが決まりました。

同校の生徒数は約九〇名。場所はメーホーソン市の西方約三八キロ、車で約一時間のカレン族の村にあります。建設期間は約三ヶ月、予算額は日本円で約百五十万円で、来年二月に完成予定です。そして竣工式に合わせて、親善訪問を実施する方向で本事業を進めることになりました。

なお、本年度も駒埼玉県国際交流協会に助成金交付の申請をし、八月二四日付けで五十万円の交付が決定しました。



▲クレヨンも共同で使っていた



▲カレン族の村



▲視察に訪れた西條副会長と同校の先生方

### ダルニー奨学金

本年度の新規授与者



ジエドウエン・クロラド

12歳



カモンウアン・ダンテール

13歳



ビヤラク・ペンサイソン

13歳



ウィサルド・バナーク

14歳



アンチャリー・プンパド

13歳



マヌーン・ナンタリ

13歳



アイラダ・ラジャングリード

12歳



ウイラワン・プライブーン

13歳



サタポーン・プーオン

13歳



パイトゥーン・クフリノ

13歳

## タイにアクセス

### 会員 VOICE

#### 現地の声を聞いて、支援を

上尾市 島村 健さん



私はタイについては3年前に見たバンコクしか知らず、それも建設中と解体中のビルが一緒にあるゴチャゴチャした大都会という印象でした。そのため、この2月の寄宿舍竣工式研修ツアーに参加して訪れたチェンマイもメーホーンも初めてで、バンコクとはまるで違うタイを知ることとなりました。そこで思ったのは日本と違い多くの山岳民族が住むタイは難しい面も多いだろうということでした。また教育面もさることながら生活はどうなのだろうということも心配になりました。それから現地に残る太平洋戦争の「跡」を見て、インパール作戦など自分が持つ断片的な歴史の知識がつながるといこともありました。

同じように教育的環境の悪いところはまだまだ、たくさんあるだろうと思いますが、今回の寄宿舍建設のように、現地の声を聞いて支援していくことが大切ということを感じました。



### タイ・フェスティバル2005



▲スウィット・シマサクン大使と原会長

今年は、これまでのタイ・フード・フェスティバルからタイ・フェスティバルと名称を変えて行われました。タイ料理だけでなくタイの伝統文化や音楽など幅広くPRしたいということで、野外ステージでは伝統的なものだけでなく、現代音楽や昨年デビューしたばかりの歌手のコンサートなど多彩なステージが繰り広げられていました。



### ピン川の水溢れる チェンマイに洪水の被害

8月14日、タイでは珍しい台風がタイ北部を襲い、40年ぶりの洪水被害が出ました。メーホーン市からパイ市への道は9箇所で切れ、パイ市の被害が特に大きかったようです。

チェンマイでもピン川が溢れ、周辺一体が濁流となりました。特にナイトバザールが開催される道路付近まで被害が及んだようです。また、ホテルに避難したマンション住民もいたそうです。



▲チェンマイ市内での洪水の様子▲

### 賑わった2日間 (第4回水かけまつり & アジアンフェスタ)

夏休み最後のイベントとしてすっかり定着した感のある水かけまつりですが、今年も子どもたちの歓声がけやきひろばに響き渡りました。

当友好協会はこの催しを後援しており、当会用ブースには当会の案内やタイの観光パンフレットが置かれました。会員の福原みどりさんは、ピピ島で津波に被災した子供達の絵が



本になったので、このブースに見本を置いて紹介しました。

屋内ではムエタイショーなどが披露され、その迫力に驚きの声が上がっていました。



▲華やかな衣装の民族舞踊



▲迫力溢れるムエタイショー

### 会員募集中

埼玉・タイ王国友好協会では、多くの県民の皆様へタイ王国を理解していただき、友好活動を積極的に進めていくために会員を募集しています。

年会費 法人会員 2万円  
個人会員 2千円

申し込み 埼玉・タイ王国友好協会事務局

問い合わせ TEL:049-247-5428 FAX:049-246-2118  
(武州ガス管内)

### タイ事務局連絡先

バンコクのUIエレクトロニクス  
タイランド内

662-712-7290

### 編集後記

▼ある新聞に、タイを訪れる日本の若者が増えていく由の記事がありました。タイ・フェスティバルに圧倒的に若者の姿が多いのを見て、頷きました。(H)

▼寄宿舍の竣工式で訪ねたサン・クッド・サムシップスクールで出会った子供たちのよく動く体と笑顔、はにかみ顔が今も浮かびます。次のバン・マイ・サ・ピー校を訪ねるのが今から楽しみです。(O)